

エクストリームウィンターチャレンジ2011 信州高山大会

優勝チームコメント

いや〜んばか〜ん 清水 直樹 さん

雪は十分。天候は晴れ。北アルプスの景色最高。風は少しあるけど、レースにはちょうどいい。そんなコンディションでレースはスタートしました。

「イーブンペースで行こう」のレース前打合せはどこへやら、相方はエンジン全開でゲレンデを直登し、CP1へ向かいます。ぼくはアベレージランナーなので、追走するのが大変。しかし、その甲斐あってCP4のチームチャレンジ、CP5の本日のピークまでに後続をある程度引き離すことができました。

CP5からゴールまでは下り基調です。多分、今回の優勝候補筆頭は去年のチャンピオンチーム「チームECU本気」でしょう。去年は下りのランで完璧にちぎられました。そのため、下りで詰められることはわかっていたので、できる限りペースを保って走ることを心がけました。走ってさえいれば、詰められても逃げ切れるかもしれないと考えたからです。そして、気持ちよく最初にゴールテープを切ることができました。

今回は全てのCPを迷うことなくゲットできました。いつもなら探すのに四苦八苦するCPが1個や2個必ずあったのに、拍子抜けするほどスムーズに取ることができました。だから勝つことができたのだと思います。

エピソードを一つ。スタートラインに並んだとき、隣の女性選手から「（このレースに慣れていそうなので）後をついて行っていいですか。」と聞かれたので、「いいですよ。でも、ぼくらが迷うと一緒に迷うことになりますよ。」などと答えました。レース後にエントリーリストを見てみると「セブンヒルズ・高橋たかこ」の名前が。おっと、もしかして相当格上の方に上から目線の受け答えをしたかも。反省m(_ _)m。

今シーズンのウィンターチャレンジはこの一戦だけだそうで、ちょっとさびしい気もします。ただ、このレースは来年も開催される予定とのことですので、みなさん、ぜひまた一緒に競い合しましょう。